



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡野 武治

TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	847	△56.2	△303	—	△279	—	△179	—
24年11月期第1四半期	1,935	△18.6	△25	—	△1	—	△25	—

(注)包括利益 25年11月期第1四半期 △161百万円 (—%) 24年11月期第1四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	△10.14	—
24年11月期第1四半期	△1.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	10,164	8,440	83.0
24年11月期	10,635	8,672	81.5

(参考)自己資本 25年11月期第1四半期 8,440百万円 24年11月期 8,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,718	△21.2	△198	—	△135	—	△145	—	△8.19
通期	8,672	3.9	107	△68.4	182	△60.3	110	△44.2	6.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年11月期1Q	17,930,000 株	24年11月期	17,930,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年11月期1Q	260,199 株	24年11月期	260,199 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期1Q	17,669,801 株	24年11月期1Q	17,803,036 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代により経済・金融政策への期待が高まり、円安基調になるなど景気回復の兆しも見られましたが、欧州各国の財政問題が長期化するなど依然として懸念要素も多く、先行きの不透明感が残る状況となりました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを事業の柱とする当社グループにおきましては、国内原子力発電所再稼働問題の方向性が定まらない中、電力の安定供給を支える企業使命のもと、再稼働の場合に迅速かつ安全な原子力発電所再稼働を可能とする技術者、技能者の量的質的維持を経営優先課題としているため、依然厳しい事業環境が続いております。

バルブ事業におきましては、国内では大間原子力発電所や千葉火力発電所3号系列3軸など新設プラント向けの販売もありましたが、その他においては小型案件が中心となり、売上案件も少なかったことから、前年同期に比べ大幅な減収となりました。海外につきましては、主力販売先である中国向けを中心に売上高の確保に努めました結果、前年同期に比べ若干の増収にとどまりました。

メンテナンス事業におきましては、売上を牽引する原子力発電所の定期検査工事がなく、また、原子力発電所の停止に伴い火力発電所の稼働率が上昇したため、火力発電所向け工事も増加せず、小規模な工事施工が中心にならざるを得ない状況に終始いたしました。また、復興関連工事にも継続して取り組み、同分野における事業規模は堅調に拡大しつつあるものの、原子力発電所の定期検査工事による売上を補填する規模には至らなかったことから、売上高は前年同期を大幅に下回ることとなりました。

損益面につきましては、特に期初においてバルブ事業・メンテナンス事業ともに売上高の絶対量不足から収益が悪化し、更にメンテナンス部門における待機工数増加に伴う未稼働人件費が利益を圧迫したことから、大幅な営業損失を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高847百万円（前年同期比56.2%減）、経常損失279百万円（前年同期は経常損失1百万円）、四半期純損失179百万円（前年同期は四半期純損失25百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ471百万円減少し、10,164百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が449百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が772百万円、固定資産が51百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ239百万円減少し、1,723百万円となりました。この主な要因は、未払費用が171百万円、工事損失引当金が73百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ231百万円減少し、8,440百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が249百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績につきましては、これまでメンテナンス事業での収益が主軸となっておりましたが、原子力発電所再稼働問題の長期化が避けられない予測から、メンテナンス事業の短中期的縮小をバルブ事業にて補填すべく注力しております。当第1四半期末時点における業績は、平成25年1月11日に公表した業績予想に比較して低い進捗となっておりますが、東日本大震災以降注力してきたバルブ事業拡大に向けた諸施策は、現在次第に受注案件という形で成果を得つつあり、3月以降のバルブ事業売上につきましては、海外の新設火力発電所向け大型案件や原子力プラント向け震災対策弁等が新規に見込まれており、今期以降につきましても拡大基調となっております。

メンテナンス事業においては、火力発電所向け高付加価値工事の拡大や復興関連工事等の新規領域への進出を鋭意実施しておりますものの、縮小した原子力発電所向け事業における売上収益を補う成果を短期的に出すことは困難な状況です。バルブ事業の拡大に伴い、人的資源の有効的配転換は進めておりますが、物理的問題による限界もあり、メンテナンス事業での未稼働人件費による利益圧迫は当社グループにおける当面の経営課題となっております。

バルブ事業、メンテナンス事業の状況を総合的に判断した結果、現時点においては平成25年1月11日に公表いたしました第2四半期および通期業績予想数値に変更はありません。しかしながら、これらの予想および進捗は、受注案件の売上時期の流動性等、今後様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,559,146	3,355,908
受取手形及び売掛金	2,938,936	2,166,253
製品	101,885	80,631
仕掛品	849,870	1,299,844
原材料	98,923	98,965
その他	254,783	382,432
流動資産合計	7,803,546	7,384,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	713,327	699,607
機械装置及び運搬具(純額)	915,760	883,938
その他(純額)	607,194	582,891
有形固定資産合計	2,236,283	2,166,437
無形固定資産	28,005	26,269
投資その他の資産		
投資有価証券	176,537	209,747
繰延税金資産	303,144	282,040
その他	90,698	98,454
貸倒引当金	△2,700	△2,700
投資その他の資産合計	567,680	587,542
固定資産合計	2,831,968	2,780,248
資産合計	10,635,515	10,164,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	213,375	254,477
未払法人税等	6,535	2,824
未払費用	292,517	120,787
賞与引当金	42,718	89,139
その他の引当金	87,776	14,365
その他	192,298	149,796
流動負債合計	835,220	631,388
固定負債		
退職給付引当金	760,939	735,525
役員退職慰労引当金	188,252	192,646
その他	178,494	163,812
固定負債合計	1,127,686	1,091,984
負債合計	1,962,906	1,723,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,931,072	6,681,241
自己株式	△87,475	△87,475
株主資本合計	8,673,597	8,423,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△989	17,146
その他の包括利益累計額合計	△989	17,146
純資産合計	8,672,608	8,440,912
負債純資産合計	10,635,515	10,164,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	1,935,972	847,347
売上原価	1,640,778	843,221
売上総利益	295,194	4,126
販売費及び一般管理費		
役員報酬	44,862	45,759
給料手当及び賞与	87,440	67,903
賞与引当金繰入額	20,766	16,970
退職給付費用	7,744	6,324
役員退職慰労引当金繰入額	4,437	4,393
減価償却費	4,557	5,462
その他	150,520	161,269
販売費及び一般管理費合計	320,328	308,082
営業損失(△)	△25,133	△303,956
営業外収益		
受取利息	40	58
受取配当金	1,138	1,165
受取賃貸料	6,770	6,840
持分法による投資利益	11,969	5,179
その他	4,588	12,926
営業外収益合計	24,507	26,169
営業外費用		
支払利息	416	353
その他	150	1,661
営業外費用合計	566	2,015
経常損失(△)	△1,192	△279,802
特別損失		
固定資産除却損	283	—
災害による損失	9,644	—
特別損失合計	9,928	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,121	△279,802
法人税、住民税及び事業税	9,253	6,507
法人税等調整額	4,756	△107,156
法人税等合計	14,009	△100,649
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,130	△179,152
四半期純損失(△)	△25,130	△179,152

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,130	△179,152
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	7,748	18,135
その他の包括利益合計	7,748	18,135
四半期包括利益	△17,382	△161,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,382	△161,016
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス事 業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,134,473	801,499	1,935,972	—	1,935,972
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,134,473	801,499	1,935,972	—	1,935,972
セグメント利益 又は損失(△)	△23,574	144,235	120,661	△145,795	△25,133

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス事 業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	556,506	290,840	847,347	—	847,347
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	556,506	290,840	847,347	—	847,347
セグメント損失(△)	△141,545	△41,331	△182,877	△121,078	△303,956

(注) 1. セグメント利益の調整額△121,078千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。